

〔山城名勝志十八〕美豆里澁大橋東北有御牧八村是美豆野ノ里ナルベシ、○下略

〔堀河院御時百首和歌〕春駒
なつくともいかわとるべき草若みみづのみまきにある、春駒

〔兼盛集〕みづのみまき

まごもかるみづの御牧の駒のあしのはやくたのしき世をもみる哉

〔重之集下〕むすめに男もたるといふころ

世にふれば心の外にあくがれて君が立名をよそにこそきけ

返し

人なれぬみづのみまきの駒なれやたつなもさらにあらじとぞ思ふ

〔内裏名所百首〕美豆御牧

かりてほす美豆の御牧の夏草はまげりにけりな駒もすさめず

〔夫木和歌抄二十二〕洞院攝政家百首五月雨

さみだれにからぬまげみのすゑはのみみづのみまきにのこるうき草

〔高祖遺書五〕秋元御書

日本國ノ中ニハ七道アリ、七道ノ内東海道十五箇國、其内ニ甲州飯野御牧三箇郷之内、波木井ト申、此郷之内戊亥ノ方ニ入テ、二十餘里ノ深山アリ、

〔甲斐國志五十一〕巨摩郡西河内領

南部御牧○註日蓮書ニ南部御牧、波木井郷、又飯野御牧三箇郷之内、波木井トモ見エテ、波木井村

ノ南貳拾村ハ凡テ南部御牧ナリ、飯野ハ其内ニ在リ、是ヲ三箇郷ニ分テルナラン、

〔甲斐國志二〕牧馬

隆祐朝臣